

 シルバーとなみ

第27号 平成23年11月10日発行

(題字)雨池 弘之

ふれあい



撮影 加藤 福蔵 (出町地区)

(社) 砺波市シルバー人材センター設立三十周年記念式典

式辞を述べる雨池理事長



盛大に開催された記念式典

式典風景
(社) 砺波市シルバー人材センターの設立三十周年記念式典は十月七日(金)、砺波市文化会館大ホールで会員、市民、関係者ら多数が参加して開かれ、さらなる飛躍を誓いました。

式典には会員、市民、来賓ら約六百五十人が出席しました。記念式典ではまず雨池弘之理事長が「会員の皆さんのご苦労と、発注企業、市民の皆様のご理解とご支援に支えられて今日この日を迎えることが出来ました。今後とも努力を重ね、皆様に愛され親しまれるシルバー人材センターを目指してまいります。」と式辞を述べました。



特別表彰のみなさん



市内四事業所へ感謝状が贈られました



「そくさい劇団」の寸劇



素晴らしい演奏でした「富山県警察音楽隊」

引き続き特別表彰が行われ、長年シルバー人材センターの発展に貢献していただいている荒木恵美さん(出町)、金剛昭一さん(雄神)、橋場平次郎さん(東山見)、森想二さん(鷹栖)に雨池理事長から表彰状と記念品が贈られました。また発注企業の生活協同組合C O O P やま砺波センター、株式会社長谷川製作所、北陸コカ、コーラプロダクツ株式会社砺波工場、ユニー株式会社アピタ砺波店の四社の代表者に感謝状と金一封が手渡されました。

このあと上田砺波市長(代理柴田副市長)、稲垣市議会議員(代理飯田副議長)、中田富山県シルバー人材センター連合会長が、それぞれお祝いの言葉を述べられ、出席された療養所議員・柴田老人クラブ連合会長ら来賓の紹介、祝電が披露されて記念式典は終了しました。休憩のあと記念講演に移り、まずは地元砺波で様々な行事で活動をしている、「そくさい劇団」による交通安全寸劇が行われました。

記念講演の最後を飾ったのが、「漫才のレツゴ一三匹」として一時代を築かれ、現在は、講演活動や漫談などを中心に活動している「レツゴ一正児」氏。演題は「人がいてぬくもりがあつて人がいて」。さすがは漫才師、息つく間もない「しゃべくり」で聴衆を引き込み、笑いの世界に引導、また正児氏の半生を交えながら母の愛、家族の愛、その愛を心の糧として、より豊かな社会生活を送るために、人の心の痛みがわかる、それでいてやる気のある人間づくりについて熱弁していただきました。



熱弁をふるう「レツゴ一正児」氏

劇団員の女性2名による「砺波弁」を交えた愉快なやり取りで会場の皆さんの笑いを誘いながら、交通安全を呼びかけました。

続いて「富山県警察音楽隊」の演奏がにぎやかに、力強く行われ、歌謡曲からジャズまで幅広く演奏があり、会場から大きな拍手が送られました。

警察音楽隊の皆さんは、東北大地震の際には隊員のほとんどの方が復興の応援に行き、この日は久々に全隊員が揃ったということでした。

震災のあつた現地でも演奏された「上を向いて歩こう」は被災された方々への応援歌であり、会場の皆さんとともにエールを送りました。

記念式典風景



互助会研修旅行 「江・浅井三姉妹博覧会」と長島温泉の旅」

今年の互助会研修旅行は十月二十七日、二十八日と一泊二日の日程でバス二台七十名が、「江・浅井三姉妹博覧会」に出掛けました。

一日目はバスを西へと走らせ、NHK大河ドラマ「江」姫たちの戦国」でおなじみ、「江・浅井三姉妹博覧会」を見学しました。戦国を動かした三姉妹（江・茶々・初）のゆかりの地。ドラマ館では映像や豪華な衣装などが展示され、三姉妹の波乱と苦悩の人生がドラマチックに紹介されていました。

昼食を挟み、商売の神様「おちよぼさん」千代保稲荷



大社へ参拝に。門前町には縁起物・飲食店など約百十店が並び、縁日のように賑わい、家族へのお土産の数もついつい増えているようでした。

旅の楽しみの一つ、夜の懇親会は「長島温泉」にて。お互いに打ちとけあって談笑。カラオケに花が咲き会場は大いに盛り上がりました。翌日も好天に恵まれ、尾張徳川家ゆかりの名品を收藏してある「徳川美術館」、砺波市の「市民交流協定都市」でもある安城市の安城産業記念公園「デンパーク」などを回って元気に帰路につきました。



シルバー清掃奉仕活動

八月五日(金)午前六時より、地域社会参加活動の一環として、清掃奉仕活動を実施いたしました。

今年は、砺波チューリップ公園に百三十四人、弁財天公園に六十七人のほか、特別養護老人ホームやなぜ苑に三十六人、社会福祉センター(庄東センター)に三十六人合計二百七十三人の会員の方が参加し、除草・清掃活動で汗を流しました。

お集まりいただいた皆さまのおかげで、どちらの施設も見違えるほどきれいになり、関係者の方々にも大変喜ばれました。ご協力ありがとうございました。



伝承遊び体験学習開催

今年度も、伝承遊び体験学習が、七月二十八日(木)庄川小学校の体育館で開催され、夏休みを迎えた元気な児童たち十五名が参加してくれました。

児童たちはバルーンアート・弓・竹とんぼ・けん玉・お手玉・こま遊びの各コーナーに分かれ体験しました。庄川地区で活動されているサムチップの方とセンター会員の杉森良平さん・齋藤清さんに講師を務めていただきました。

また、第二回の伝承遊び体験学習が八月二日(火)出町小学校放課後児童教室で十七名の児童が参加し開催され、竹とんぼ・こま・あやとり・折り紙を体験してもらいました。

両日とも大変盛況に終わり児童たちからも「楽しかった。」「練習して出来るようになった。」などうれしい声が聞かれました。



◎配分金支払い日案内◎

- 十一月十五日(火)
- 十二月十五日(木)
- 一月十六日(月)
- 二月十五日(水)
- 三月十五日(木)
- 四月十六日(月)

編集後記

今年、国内外ともに大きな災害の多い年でした。また当センター設立三十周年の節目の年でもありました。

会員の皆様には、気候の変化に対応しながら、各方面で意欲的に活躍され、誠にご苦労さまでございました。大きな事故のなかったことが何より嬉しいことでした。

高齢者は自立(自律)が基本であり、健康に暮らすには、まず目標・目的を持つこと重要です。

これからも、健康・安全に気をつけて、元気に働こうではありませんか。

(広報部会中嶋)

